

JBA OFFICIAL BASKETBALL RULES 2020 EXERCISES RULES VOL.4

ルールエクササイズ vol.4
(2020年8月15日配信)

【B級・A級・S級審判ライセンス、3級・2級・1級・T級審判インストラクターライセンスの皆さま】

新型コロナウイルスの影響により、本年度のライセンス更新に係るルールテストは従来の形では実施いたしません。
ルールテストの代わりに本ルールエクササイズを配信いたしますので、ぜひ競技規則や問題集を閉じてトライしてみてください。



QUESTION 16

チームAのフロントコートのサイドラインからのスローインで、審判からスローインのボールを受け取ったA1がボールを持っている間に、A2がチームAのフロントコートの制限区域内で3秒間とどまっていた。審判はA2に対して3秒ルールのバイオレーションを宣した。(○/×)

QUESTION 17

B1は第1クォーターに判定に対する不満表現でテクニカルファウルを宣せられた。その後、B1は第4クォーターに個人として5個目のパーソナルファウルを宣せられ、失格となった。B1はチームベンチに向かう間に、審判に対して暴言を吐いた。審判はB1にテクニカルファウルを宣し、2個目のテクニカルファウルを記録されたB1を失格・退場とした。(○/×)

QUESTION 18

A1は2本のフリースローを与えられ、両方のフリースローを成功させた。2本目のフリースローが成功したあと、ボールがライブになる前に、A2とB2はそれぞれテクニカルファウルを宣せられた。それぞれのファウルはA2とB2に記録され、チームAとチームBにそれぞれ1本ずつフリースローが与えられる。ゲームはエンドラインからチームBのスローインで再開される。(○/×)

QUESTION 19

チームAのフロントコートからのスローインでA1がコート内に投げ入れたボールを、B1が故意に足で止めてしまったため、審判はバイオレーションを宣した。ゲームクロックがスローインの時点から1秒進んだので、審判はゲームクロックを訂正してゲームを再開した。(○/×)

QUESTION 20

A1がショットを放ち、ボールがリングとバックボードの間に挟まった。オルタネイティングポゼッションアローはチームAを示し、ショットクロックは残り8秒を表示していた。ゲームはチームAのスローインで再開され、ショットクロックは継続となる。(○/×)

今回のルールエクササイズの解答と解説は、【ルールエクササイズ vol.5】(2020年9月15日配信予定)とともに配信いたします。

JBA公式ホームページでは、競技規則、JBAプレーコーリング・ガイドライン、ルールテスト問題集などをご確認いただけます。

<http://www.japanbasketball.jp/referee/>